

AI Index: MDE 15/002/2010

イスラエル及び被占領パレスチナ地域  
窒息させられている：  
イスラエルによる封鎖下のガザ地区

Israel/Occupied Palestinian Territories

SUFFOCATING:

THE GAZA STRIP UNDER ISRAELI BLOCKADE





水が溢れたガザの通りを横切ろうとしている女子学生たち © Associated Press

140 万人を超えるパレスチナの男性、女性、子どもたちがガザ地区の中に閉じ込められている。ちょうど長さ 40km、幅 9.5km の地域にいる彼らの生活は電力不足、わずかか全然ない質の悪い水道水、ひどくなる健康管理状況などに特徴づけられる。大量失業、極度の貧困、食料不安が悪化し、イスラエルによる封鎖の影響でさらに深刻になっている。

2007 年 6 月にガザ封鎖が実施されてから、イスラエルが管理するガザとイスラエルまたは西岸地区の間の検問所は閉じられたままである。(P9 の地図を参照) ガザとエジプトの境界にあるラファの検問所はエジプト当局に管理されており、ほとんど閉じられたままである。わずかの例外的な人道的ケースを除いて、封鎖はパレスチナ人たちの出入りを妨げている。

封鎖は商品の輸出を禁じ、食料や燃料などの基本物資の搬入も制限している。入手できる食料の多くは、国連や他の援助機関から供与されるか、もしくはエジプトとガザの境界の地下を走るトンネルを通して密輸され、孤立したガザの住民たちに法外な値段で売られている。また封鎖によってしばしば必要な緊急医療や生計手段の追求も妨げられている。

2008 年 12 月 27 日から 2009 年 1 月 18 日までの間、ガザの住民は「キャスト・レッド (鑄込まれた鉛)」作戦というイスラエルの破壊的な軍事攻撃にさらされた。イスラエルは、ハマスと他のパレスチナ武装グループによる無差別ロケット弾発射をやめさせるためにこの作戦を実行したと述べている。数百名の民間人を含む少なくとも 1,383 名のパレスチナ人が殺され、数千名が負傷した。電力網と水道網や、数千の家屋が破壊されるか大破した。病院や学校などの民間の建物も損壊した。「キャスト・レッド」作戦から 1 年後、ガザはほぼ外界から遮断されたままである。イスラエルによってほとんど



「キャスト・レッド」作戦でイスラエルの空爆により攻撃されたバーダー製粉所 © Amnesty International

の建築資材の搬入を禁じられ、ガザの住民は粉碎された生活を立て直すこともできない。

「ガザの人びとは、無差別で長期にわたる苦難を受けない尊厳ある生活を営む権利を他のすべての人たちと同様に持っている。彼らは封鎖によってもたらされた集団的懲罰の継続に従わされるべきではない」。

マックスウェル・ゲイラード (被占領パレスチナ地域の国連人道調整官)

イスラエル当局は、封鎖はパレスチナ武装グループからの攻撃、特にガザからイスラエル南部に向けての無差別ロケット弾発射への対応だと述べている。その後、パレスチナ武装グループ構成員による違反がいくつかあったにしても、**2009年11月**にハマスはロケット弾発射の一方的停止を宣言した。一方、イスラエル軍はガザに定期的な襲撃を行ない、ガザとエジプトの間の密輸に使用されているラファ境界地域の地下トンネルを爆撃しつづけている。

どんな正当化発言があろうとも、食料や医療品、教育設備、建築資材のガザへの搬入を制限することで、実際、イスラエル当局はガザの全住民に集団的懲罰を加えているのである。ロケット弾や他の攻撃に責任がある人びとというより、大多数が子どもたちであるガザの全住民を標的にしている。状況はエジプト政府が継続してラファ検問所を全面閉鎖していることで、より悪化している。最近では、ガザの生命線となっている国境を越えた密輸を途絶させるために、ラファの境界に沿って鋼鉄の壁の建設することでよりひどくなっている。しかしながら、ガザの住民たちの福利を保証する主要な責任を持つのは占領権力としてのイスラエルである。

### ますます孤立するガザ地区

#### 1991年

ガザ地区の出入りのための最初の検問所をイスラエルが開設。時が経つにつれて、さらに検問所が設けられ、フェンスが建設されて、人びとは検問所を通過することを余儀なくされた。検問所の開閉は断続的かつ予測できない。ガザに住むパレスチナ人たちは西岸地区に行くには特別許可を得る必要がある。

#### 2000年9月

第2次インティファダの勃発。イスラエルはガザの出入りについて、医療と「人道的」ケースのみに許可を制限した。

#### 2003年

西岸地区で生活、勤労、勉学をしておりガザに登録住所があるパレスチナ人たちを逮捕、ガザに送還する広範な政策を採用。

#### 2005年8月

イスラエルがガザからの「撤退」を宣言し、イスラエル人入植者を撤収。しかし、イスラエルはガザの領空、領海、そしてイスラエルとの境界の管理を保持。イスラエル軍は、エジプトとガザとの唯一の通過点であるラファから去るが、境界通過の許可については実質的な管理を行ないつづけている。

#### 2006年1月

ハマスがパレスチナ自治政府（PA）議会選挙で勝利。国際社会はパレスチナ自治政府に通商停止の措置を行ない、西岸地区とガザでの開発プロジェクトを中止。

#### 2007年6月

ハマスがガザでの支配権を掌握。ガザへの食料、燃料、他の基本物資の搬入を制限するイスラエルによる封鎖が開始される。医療上のケースでの移動もガザ地区からの出入りは制限され、遅延させられる。ガザの家族たちはイスラエルの牢獄にいる近親者に面会に行くことも許されなくなる。エジプトはラファ検問所を日常使用については閉鎖し、いくつかの臨時の移動の場合のみに断続的に開放。**2008年10月**までに、**2007年5月**にはガザに入ることを許可されていた援助と輸入品のトラックのうち、**3分の1**程度しか通過を許可されず。

**2008年12月27日**

イスラエルが「キャスト・レッド」作戦という大規模な軍事攻撃をガザで開始し、メディアと援助機関がガザ地区に入ることを差し止める。それからの3週間でイスラエル軍は333名の子どもたちを含む少なくとも1,383名を殺害。一方、パレスチナ武装グループのロケット弾攻撃により、イスラエル南部で殺された3名の民間人を含む13名のイスラエル人が殺害された。



(写真左)

イスラエル軍によって家屋が破壊された後、家族が暮らしている仮構造物の外にいるハリマ・ムスリと子どものヌール・ナンシー、ナリマン、ニーミン。

© Amnesty International

(写真左下)

サミール・アルナディムは3人の子どもの父親で、心臓手術のためのガザ出立が22日遅れてしまった後に亡くなった。イスラエル当局が2009年10月29日、彼に出立することを許可した時には、サミールは意識がなく人工呼吸器をつけていた。西岸地区の病院に到着した時には病状が悪化しすぎており、外科医らは手術ができず、彼は2009年11月1日に心臓麻痺で死亡した。イスラエル当局はサミール・アルナディムの死の原因となった遅延についていかなる責任も否定し、標準的な官僚的手続きをとったにすぎないと言明した。

© Iad al-Nadim



## 行くべき家のない家族たち

「キャスト・レッド」作戦の1年後も、イスラエルの軍事攻撃で家から追われた20,000人を超える人びとは仮住まいをつづけている。アパートを借りられる家族もいるが、多くはテントや粗末な小屋に住むか、既に超満員の家屋に近親者と共に滞在している。

## ムスリ家の場合

モハメドとハリマ・ムスリ夫婦と4人の幼い子どもたちは、ガザ市の北にあるジュホール・アルディク村で暮らしている。家族は「キャスト・レッド」作戦の開始時に、家を出て避難した。その間に、家はイスラエル軍のブルドーザーによって破壊された。

「爆撃のあった最初の2日は家にいましたが、近所の家屋が砲撃された時に出て行きました。何も持ち出しませんでした…。家に戻ったらすべてが壊されていました。私たちには何もなかったので、人びとが食べ物を与えてくれました」。

モハメド・ムスリ

ジュホール・アルディクに戻って最初の6ヶ月間、家族は雨漏りがするナイロン製のテントで生活した。彼らはそれをより頑丈な仮構造物（写真を参照）に取り替えて、単純だが耐久性のある家をシンダーブロック（訳注：セメントと石炭殻を混ぜて造った中空の建設用ブロック）で建築中である。しかし、引き続きイスラエル軍の侵攻で、残りのわずかのものも破壊されるのではと家族は心配している。

「軍は侵攻中、7月からここに来ていました。兵士たちは『お前たちはまだ何も見ちゃいない。次は家をお前たちの頭の上に落としてやる』と私たちに言いました」。

ハリマ・ムスリ

## 包囲下の患者たち

ガザでの軍事攻撃が終結して以来、既に苦闘中だった保健部門は元に戻すためのさらなる闘いを強いられた。封鎖が続いているため、保健部門は備品と医療品の不足に悩まされている。ガザの病院に向けての医療用品を積んだ世界保健機関（WHO）のトラックは説明もなくイスラエルの国境警備員によって繰り返し追い返された。

イスラエルの境界封鎖によって、ガザで治療できない健康状態の人びとは、外国の病院か西岸地区のパレスチナの病院で治療を受けるためにガザを出る許可を申請する必要がある。イスラエル当局は、こうした許可をしばしば拒否、あるいは遅らせる。

さらに、許可を得るにはガザの病院と西岸地区のラマッラーにある保健省双方から得なければならない広範な証拠書類が必要である。ガザのハマスと西岸地区のファタハという対立する党派の間の調整がまずいために、必要な文書を得るためには官僚的な遅延が生じる。ラファ検問所通過許可の遅延もエジプト側で生じている。WHOは医療を緊急に受けないといけない人びとに遅延が生じるリスクを指摘しており、2009年には許可を待つ間に28名の患者が死亡したと述べている。そのうち14名は、イスラエルに抜けるエレズ検問所の通過待ちの人びとだった。封鎖による遅延がなければ、これらの死は生じなかったかもしれないと考えられる。

## 苛酷な人生訓を学ぶ学童たち

ガザの人口の過半数が18歳未満である。通学など、子どもたちの日常活動は引き続き封鎖に深刻な影響を受けている。

2009年から2010年にかけての学年度開始時に、ガザの多くの生徒たちは教科書や筆記用具なしで勉強しなければならなかった。教材を積んだトラックの荷が、ケレム・シャローム検問所でイスラエルによって止められたからである。（P9の地図を参照）

2008年から2009年にかけてのイスラエルの軍事作戦の間、ガザの641の学校の内、280校が損害を受け、18校が破壊された。封鎖と建築資材搬入への継続的制限のために、損害を受けた学校を修理することはきわめて困難になっている。「キャスト・レッド」作戦の後はガラスがほとんど入手できなくなり、損害を受けた学校の壊れた窓はビニールシートと木材でおおわれているだけである。学習しよ

うとする際には、子どもたちは風雨にさらされるか、自然光のない教室で格闘しないといけない。



(写真上)

オマール・ビン・ハタブ女子小学校の外に立つ子どもたち。ガラスがないために、教室の窓は修繕できていない。©Amnesty International

2009年12月の終わりに、国連事務総長の潘基文からの圧力で、イスラエルはガザにガラスを入れる許可を出すと声明した。

## 産業と暮らしは灰燼に帰した

「キャスト・レッド」作戦は工業、農業、商業部門の700の民間企業の建物や設備、在庫品を破壊するか、もしくは深刻な損害を与えた。封鎖によって、輸入が制限されたり実質的に輸出が禁止されたりしているため、パレスチナの貿易は窒息させられ、被害を受けた産業と暮らしを再建することはほとんど不可能になっている。

## バーダー製粉所

ガザ市から北西にあるジャバリヤの西、スダニアのバーダー製粉所は2009年1月10日の空襲で繰り返し攻撃された。ハマダ兄弟が経営していた製粉所は約85名を雇っていて、その地域の従業員家族からなる広範な人びとの暮らしを支えていた。

製粉所の心臓部が攻撃され、3つのフロアと穀物を粉にするのに必要な機械が破壊された。本館の横

にある貯蔵施設も損害を受け、中にあった小麦もだめになった。電算化された精製システムなど攻撃で失われた建物と設備の被害総額は **209,000** 米ドルであった。



(写真上)ガザの破壊された自らの製粉所のそばに立つハムダン・ハマダ © Amnesty International

「とりわけ、とても重要な機械を精確照準で攻撃したやり方は、その意図が生産能力の点で工場を使用不能にするものだったことを示唆している」。

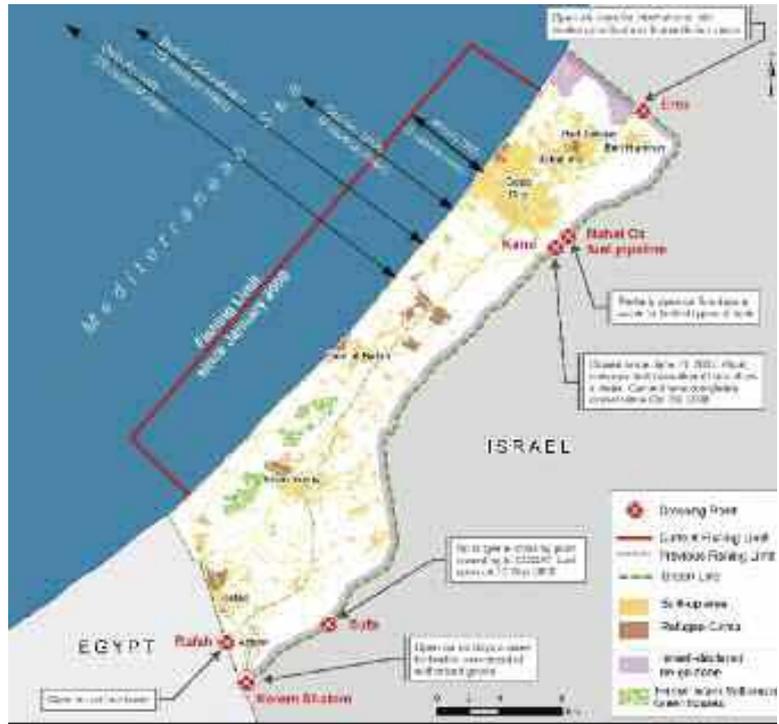
ガザ紛争についての国連事実調査団報告書 (2009 年)、パラグラフ 50 より

「キャスト・レッド」作戦から 1 年経っても、ハマダ家は建物修理に必要なわずかのセメントと鉄さえも入手できていない。兄弟たちは生産再開のために取替えが必要な特殊機械のリストを作成したが、イスラエル当局は彼らがそれらの品をガザに搬入することを許可していない。2000 年以前、ガザの民間部門は 11 万人を超える人びとを雇用していたが、急速な経済活動停止により失業が増えている。2009 年 12 月、国連はガザでの失業率が 40%を超えると報告した。

## 漁業と農業 — 危険な職業

イスラエルは「キャスト・レッド」作戦の間、ガザ地区の東と北の端に沿ってパレスチナの土地に「緩衝地帯」を拡大した。現在ではこの地帯は数か所でガザ地区内 2km まで拡大しており、ガザの農地の 30 パーセントを飲み込んでいる。この地域に入る農民や他のパレスチナ人たちはイスラエル軍によって銃撃される危険がある。イスラエル軍はまたガザの沿岸から 3 海里 (訳注: 5,556m) を超えての漁業禁止を強化するために、定期的にパレスチナ人漁師たちを銃撃する。これはイスラエルがガザの境界と領空を持続的に管理していることへのしるしの 1 つにすぎない。

漁業は必要不可欠な雇用と、この地域に住む人びとへの収入を提供するガザの主要産業であった。パレスチナ人たちは 20 海里（訳注：37.04km）まで漁業を認められていた 2000 年以降、イスラエル当局はパ



<写真左上>

アシュラフ・アブ・スリーマン(16 歳)は、「緩衝地帯」に近いガザ地区の北端にある浜を歩いて、友人に会いに行く途中でイスラエル兵に撃たれた。1 ヶ月のリハビリの後も、右足は動かせる範囲が極めて少なく、右腕は動かすことができなかった。 © Amnesty International

<地図右上>

新しい漁業限界線と「緩衝地帯」を示したガザ地区の地図(訳注： より詳しくは OCHA のウェブサイト参照)  
© United Nations, Office for the Coordination of Humanitarian Affairs (OCHA)

レスチナ人漁師が仕事するエリアを次第に狭めてきた。「キャスト・レッド」作戦の後、許可される漁業エリアはさらに狭められ、6 海里から 3 海里になった。ガザの港にいる漁師たちの中にはアムネスティ・インターナショナルに対して、それなのにほんの 2.5 海里でも銃撃を受けたと訴える者もいた。沿岸に最も近い海域は概して少量の小魚がいる程度である。漁獲高が少ない上に燃料価格が上昇しているため、より大きな船舶で出漁すれば全体的な損失を招くリスクがある。漁獲高が少ないため、ガザの漁師たちはますます小さな船舶を使用するようになり、より大きな船舶は使用されないまま港で錆びるに任されている。

「人民は、いかなる場合にも、その生存のための手段を奪われることはない」。  
経済的、社会的、文化的権利に関する国際規約 第 1 条 2 項

結論

占領権力として、イスラエルは国際人道法の下、差別することなくガザの住民の福利を保証する義務がある。健康、教育、勤労の権利、そして食べ物や適切な住宅についての権利を含む相当な生活水準を保つ権利などの住民の人権を維持しなければならない。

封鎖は国際法の下、集団的懲罰を構成する。「キャスト・レッド」作戦後の復興と再建にぜひとも必要な資材や支援を入れることを妨害することで、イスラエル政府はガザの一般住民たちをさらに苦しめつづけており、拘束力のある法的義務に違反している。

## 今、行動を！

ガザ封鎖を解除するようイスラエル当局に要請して下さい。

<イスラエル政府宛の例文>

Dear President,

I am writing to you to express my deep concern over the situation in Gaza. I sincerely ask you to lift the blockade and open all crossing points under the Israeli government's control immediately.

I request you to allow fuel, food and other necessities into Gaza without restrictions, and to permit the free entry of educational and medical equipment, and construction materials necessary for rebuilding and all other materials essential to enabling Gaza's population to enjoy their human rights.

I also urge you allow the export of goods from Gaza and the import of raw and other materials necessary for Gaza's industrial production.

I ask you to immediately return all arable land inside Gaza currently used as a "buffer zone".

In addition, please agree a fair fishing zone with Palestinian representatives that is equivalent to the distance Israel enjoys from its coast for its fishing industry.

Lastly I ask you to ensure that Israeli security forces at Gaza's borders use force only when necessary to counter genuine threats and do not use lethal force except in the circumstances allowed under international law.

Thank you very much for your attention.

Respectfully yours,

<例文訳>

大統領閣下

ガザの状況について重大な懸念を表したく御手紙します。封鎖を解除し、管理下にあるすべての検問所を直ちに開放するよう謹んで御願いたします。

燃料や食料、他の必需品が制限なくガザに搬入できるよう許可して下さい。また、教育や医療設備、建築資材など再建に必要なもの、そしてガザの住民が自らの人権を享受できるように不可欠なすべて

11

の資材の搬入を自由化して下さい。

またガザからの商品輸出とガザの工業生産に必要な原料や他の資材の輸入を許可するよう求めます。

現在、「緩衝地帯」となっているガザ内部のすべての耕地を直ちに返還するよう御願いたします。

加えて、イスラエルが沿岸漁業で享受している距離と同等の公平な漁業区域についてパレスチナの代表者と同意して下さい。

最後にガザ境界にいるイスラエル治安部隊が武力行使できるのは本物の脅威に対処する場合だけで、国際法の下で許される状況以外は死を招く武力行使をしないことを保証するよう求めます。

お読み下さり有難うございました。

敬具

<宛先>

イスラエル大統領

**Shimon Peres**

**President of the State of Israel**

**The Office of the President**

**3 Hanassi Street**

**Jerusalem 92188**

**Israel**

**Fax: +972 2 561 1033 または +972 2 566 4838**

書き出し: **Dear President**

イスラエル首相

**Benjamin Netanyahu**

**Prime Minister**

**Office of the Prime Minister**

**3 Kaplan Street**

**PO Box 187**

**Kiryat Ben-Gurion**

**Hakiryia**

**Jerusalem 91950**

**Israel**

**Fax: +972 2 566 4838 または +972 2 6496659**

書き出し: **Dear Prime Minister**

\*パレスチナ自治政府とガザの事実上の統治者であるハマスにも、調整作業を改善し、ガザの外での医療が必要な患者移送を容易にできるよう要請して下さい。

<パレスチナ自治政府宛の例文>

**Dear Minister,**

I am writing to you to express my concern over the patients requiring medical treatment outside Gaza.

I sincerely ask you to improve co-ordination with Hamas and facilitate their transfer.

Respectfully yours,

<パレスチナ自治政府の宛先>  
西岸地区 パレスチナ自治政府保健大臣  
Dr Fathi Abu Moghli  
Minister of Health  
Ministry of Health  
PO Box 14  
Nablus  
Palestinian National Authority, via Israel

Fax: +970 2 2408979

Email: [dr.fathiabumoghli@gmail.com](mailto:dr.fathiabumoghli@gmail.com)

書き出し: Dear Minister

<ハマスの宛の例文>

Dear Dr Naeem,

I am writing to you to express my concern over the patients requiring medical treatment outside Gaza.

I sincerely ask you to improve co-ordination with PA and facilitate their transfer.

Respectfully yours,

<ハマスの宛先>

ガザ

Dr Bassem Naeem  
Minister of Health

Fax: +970 8 2826295

Email: [mdpr2000@gmail.com](mailto:mdpr2000@gmail.com)

書き出し: Dear Dr Naeem

\*ガザの事実上の支配者であるハマスに対してイスラエルに向けたすべての無差別ロケット弾発射を恒久的に停止するよう要請して下さい。

<例文>

Dear Mr Haniyeh,

I sincerely ask you to cease permanently all indiscriminate rocket attacks into Israel.

I am asking Israeli authorities to lift the blockade on Gaza.

Respectfully yours,

13

<宛先>

ハマス首相

Isma'il Abd al Salam Ahmad Haniyeh

Prime Minister of the Hamas de facto administration in Gaza

Fax: +972 (or 970) 8 288 4815 or +972 (or 970) 8 288 4493

連絡先のリンク:

[www.pmo.gov.ps/index.php?option=com\\_contact&view=contact&id=1&Itemid=79](http://www.pmo.gov.ps/index.php?option=com_contact&view=contact&id=1&Itemid=79)

書き出し: Dear Mr Haniyeh



---

Israel/ Occupied Palestinian Territories  
SUFFOCATING: THE GAZA STRIP UNDER ISRAELI BLOCKADE  
Amnesty International  
International Secretariat  
Peter Benenson House, 1 Easton Street, London WC1X 0DW,  
United Kingdom

翻訳・監修：社団法人アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目2 共同ビル（新錦町）4F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778  
info@amnesty.or.jp  
<http://www.amnesty.or.jp/>

---